

◎ 展開する事業群(3-2-4)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	生活環境の整備による子育ての支援
基本施策分野	④	子育てバリアフリーの推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	18年度実績	17年度実績
都市施設・公共施設のバリアフリー化とユニバーサルデザインの促進	○公共施設等のバリアフリー化 (「交通バリアフリー法」や「京都府福祉のまちづくり条例」等に基づき、既存都市施設や公共施設のバリアフリー化を計画)	建設部総括安心まちづくり	H17～21	道路の新設・改良にさいしては、バリアフリー化を進めた。	道路の新設・改良にさいしては、バリアフリー化を進めた。・安心まちづくり室18年度より実施予定
	○ユニバーサルデザインの導入促進(★) (新たに整備する施設にあっては、ユニバーサルデザインの導入を推進)	建設部総括計画検査	H17～21	新たな公共施設については、ユニバーサルデザインに配慮した。	新たな公共施設については、ユニバーサルデザインに配慮した。
福祉のまちづくりの推進	○道路整備 (市道補修の際は、子どもやベビーカーに配慮し、必要な箇所に段差の解消、細目グレーチングの使用、危険箇所の転落防止策の設置)	施設整備	H17～21	南田辺三山木駅前線 建物等補償調査業務委託 建物等移転補償 用地補償	茶屋前外島線防護柵設置、大欠1号線防護柵設置、長尾谷4条線防護柵設置、池ノ端大住ヶ丘線防護柵設置、新田辺駅前広場歩道改良整備等を行った。
		施設管理		一休ヶ丘団地9号線 L=60.7m 興戸二又線道路実施設計 (仮称)出垣内多々羅線新設 L=128.0m	段差解消 N=10カ所・細目グレーチング設置 N=9カ所・横断防止柵の設置 N=1カ所(5メートル)を行った。
	○住宅整備 (市営住宅建設に当たっての配慮)	施設管理	H17～21		市営三山木団地 1棟(N=30戸)にエレベーターを設置した。
まちづくり事業での配慮 (三山木地区特定土地区画整理事業関係)	○鉄道高架並びに公共施設(公園等)の整備改善と宅地の利用増進	三山木整備	H17～21	・平成19年3月20日 三山木駅前広場暫定供用開始。	近鉄京都線三山木駅付近線路高架工事は、平成17年8月に奈良行き高架線切り替え完了し、高架新駅舎の供用を開始した。
				・家屋移転対象戸数153戸のうち、116戸が完了した。・家屋移転進捗率75.8パーセント ・仮換地指定率 73.2パーセント ・使用収益開始率 31.8パーセント	家屋移転対象戸数153戸のうち、112戸が完了した。・家屋移転進捗率73.2パーセント 仮換地指定率 66.9パーセント ・使用収益率 28.4パーセント
	○街路事業、公園事業、高質空間形成施設整備事業、地域生活基盤施設整備事業、都市再生土地区画整理事業	三山木整備	H17～21	・早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。	早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。

◎ ユニバーサルまちづくりや商品のデザインなどについて、能力あるいは障害のレベルにかかわらず、すべての人が利用しやすいデザインを最初から取り入れる方法